



九州国際大学

# 学生向け「研究倫理」ガイドブック

---

学生の皆さんに求められる  
「研究倫理」について

【令和 8 年度版】



## もくじ

ごあいさつ.....	1
1. 九州国際大学の学生のための研究倫理について .....	2
2. 九州国際大学での研究活動不正防止への取り組み.....	6
3. 九州国際大学 生成 AI 利用ガイドライン(初版).....	7
最後に .....	9

## ごあいさつ

ご入学、誠におめでとうございます。

皆さんが大学で研究や学習を行う際には、誠実さと透明性を重んじ、倫理的なガイドラインに従うことが求められています。そのために学生一人ひとりが「研究倫理」の重要性を深く理解し、実践することはとても重要です。

大学生活では、課題やレポートの作成など、さまざまな場面で研究倫理を考慮する必要があります。このガイドブックは、そうした場面におけるガイドラインを提示してくれるでしょう。

皆さんが今後の学びで、研究倫理に関する知識を深め、その実践に励むことで、学びの質と価値が一層高まることを心より願っています。

研究倫理教育責任者  
法学部長 花松 泰倫  
現代ビジネス学部長 村上 真理

大学は、主体的に学ぶ場所です。押しつけられて学ぶ場所ではありません。自分から進んで学ぶ場所です。決して強制されて勉強させられる場所ではありません。大学は、皆さんの「学びたい」「知りたい」というモチベーションにより、学びを深めていく場所なのです。

そして、大学で学ぶ対象は、世界の全てです。興味のあることがらの全てが学びの対象です。もちろん教科書は大切ですが、決して教科書の内容だけを覚えておけば大丈夫ということではありません。教科書の内容を踏まえながら、自分が関心を持ったことがらについて深く探究していくのが、大学での学びなのです。

そのような大学での学びのためには、守らなければいけないルールがあります。特に、このガイドブック「九州国際大学の学生の皆さんに求められる『研究倫理』について」では、皆さんが学びの成果をレポートや論文といった「カタチ」にする際に必要な、基本的であり非常に重要な心得についての説明がなされています。

架空のキャラクターである志智参先生、亀屋万年パーカー筆夫くん、九国太郎たちと共に、このガイドブックでその心得について学んでいきましょう。

研究倫理に関する相談窓口  
基礎教育センター長 松井 貴英

研究倫理に関する相談は、基礎教育センターまで問い合わせください。  
もちろん、大学での学び全般についての相談も、遠慮なくどうぞ。

基礎教育センター  
TEL 093-671-8984

# 1. 九州国際大学の大学生のための研究倫理について

## 【はじめに】

昨今、研究活動における不正行為の事案が後を絶ちません。そしてこれらの不正行為は、社会問題となって世間を騒がせることが多々あります。

少し古いですがけれども「STAP細胞」という世紀の大発見が、世間を騒がせました。しかし、実際は、そのような細胞は存在しませんでした。この研究者は成果を捏造していたのです。

成功した  
#10000  
は...  
成功した

STAP  
細胞は  
存在し  
ました



このような研究不正は、皆さんにとって他人事ではありません。なぜなら、**大学生であるみなさん**は、高等教育機関であり、かつ研究機関である大学において、**主体的に学ぶ存在であるだけでなく、主体的に研究**もしている存在でもあるといえるからです。

【発展的内容】レポートの書き方（その1）

← マンガは、この方向で読んでね

今後、皆さんは、授業でレポートを課されるが増えていくと思います。半期で複数回のレポートが課されることもあるでしょうし、期末試験が課されないかわりにレポートが課されることもあるかと思えます。

レポートを書く際に、決して行ってはいけないことがあります。それは、

**コピペ**  
と  
**剽窃（無断盗用、丸写し）**

です。

左のマンガで、九国太郎は安易にウィキペディアをコピペしてしまいました。

それが博士に見放られ、**失格**を受けてしまいました。

反省した九国太郎は、ウィキペディア等を安易にコピペすることはいけないということは学びました。そして本を読み、本を写すことにしました。しかし、単に本を写すだけでは、単なる剽窃であるということに気づかなかった九国太郎は、博士に「単に本の丸写しをしただけ」とみなされ、またしても**失格**を受けてしまいました。

九国太郎は、この先、コピペや剽窃（無断盗用、丸写し）をすることなく、F評価の無断地獄から抜け出すことができるのでしょうか？ 九国太郎のためにも、そして、皆さんのためにも、適切なレポートの書き方の例を示したい……ところですが、紙幅の都合で、今回はここまでといたします。

次回の「レポートの書き方（その2）」を、乞うご期待！

「レポートの コピペががして **失格** 九国太郎、心の川柳  
「無断盗用と みなされ **失格** 九国太郎、心の前衛的川柳

18

左側に掲載されているものは、現代ビジネス学部のアカデミックスキルの授業での教材『マナビのトビラ』の「レポートを執筆する際にコピペと剽窃（ひょうせつ）をしてはいけない」ことについて説明しているページです。（ページ数は旧版。改訂版では26ページ）

モザイクがかかっている部分は、レポートについて失格判定を受けて嘆き悲しむ九国太郎の涙で滲んでしまった箇所なのです。ではなぜ九国太郎は止めどなく涙を流し続けることとなったのでしょうか。

九国太郎は、レポートを執筆する際にコピペをしました。これは他者の作成した成果物（ここではウィキペディア）の無断使用である「剽窃（無断盗用、丸写し）」と呼ばれる行為であるがゆえに、失格となってしまいました。

また、書籍からの引用をする際にも、引用箇所を明示しなかったことにより「剽窃」をしたことになってしまい、やはり失格となってしまいました。

## 【何がダメなのか？】

九国太郎が知らず知らずのうちに犯してしまった「剽窃」という行為は、研究者である大学の先生はもちろん、みなさんにとっても、決しておこなってはいけない行為です。

みなさんは九州国際大学の大学生です。先にも述べましたが、大学生は、大学で主体的に学んでいる存在であります。そして、それだけでなく、主体的に研究もしている存在であるともいえるのです。

それは、世界の全てが学びの対象である大学という場においてみなさんが、自分たちの興味や関心のある事柄について、授業でのレポートやゼミでのプレゼンテーションや卒業論文等で自発的に探究をして、レポートやプレゼンテーションの資料や卒業論文といった成果物を作成している（あるいは作成することになる）ことから、明らかなことなのです。

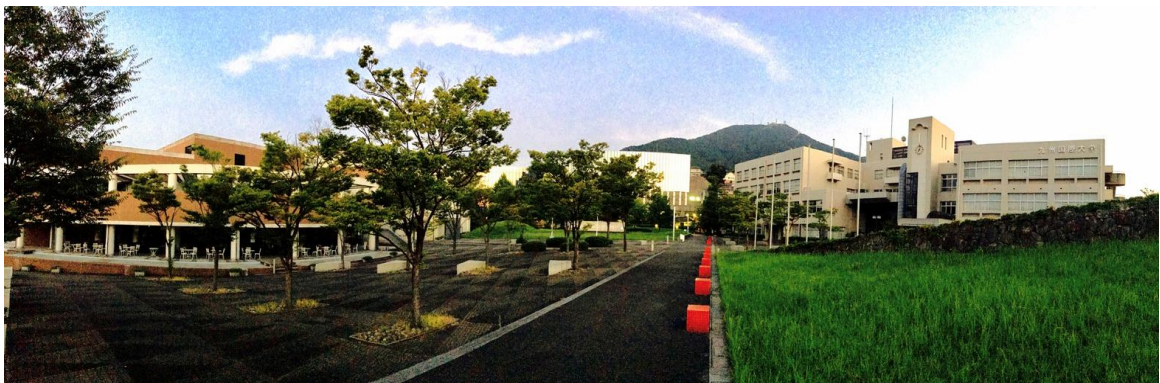
したがって、みなさんは、それらを作成する際には「研究のルール」を守らなければならないのです。そして、この「守らなければならない研究のルール」が

九国大生  
として  
守るべき  
ルールが  
あるのです。



## 「研究倫理」

というもののなのです。では、研究倫理とはどのようなものなのでしょうか。



## 【研究倫理とは？】

研究倫理は  
正しく研究を  
すすめるための  
ふるまいの  
指針と心得  
よこせよう

研究倫理とは、簡潔に述べるならば、志智参先生が  
亀屋万年パーカー筆夫くんに述べているように「正しく  
研究するためのふるまいの指針」であるといっ  
てよいでしょう。



倫理とは  
とまがらの  
こころの  
なごです。

「倫理」とは、九国太郎がしたり顔で述べているように、  
「ともがら（倫）のことわり（理）」のことです。研究倫理  
とは、「研究をしている人たち（≡ともがら）との間での約  
束事（≡ことわり）」であるということになります。



大学の先生方は、調査したり論文を執筆したりといった、研究活動をする際には、こ  
のようなルールを守っています。学生の皆さんにも、この「研究をしているともがらと  
の間でのことわり」である「研究倫理」に適ったふるまいをしてほしいと願っていま  
す。

では、具体的にはどのようなふるまいが、研究倫理に適うふるまいであり、どのよう  
なふるまいが研究倫理に適わないふるまいなのでしょう。

## 【研究倫理に適うふるまいとは？】

学生のみなさんにとって、特に重要な「研究倫理に適うふるまい」とは

**「調査に基づいた研究」**

**「適切な引用や参照」**

**「自分の主張と他者の主張の明確な区別」**

この三点であるように思われます。

反対に、これらのふるまいを守らなかった場合、「不正行為」とみなされます。  
それは、具体的には主に

「捏造（ねつぞう）」

「改竄（かいざん）」

「盗用（とうよう ≒ 剽窃）」

の三点となります。具体的な説明は、以下の通りです。

☆「捏造」

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

例えば、アンケートを実施せずに、その回答を勝手に作成すること。

☆「改竄」

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

例えば、仮説に合わない実験データやアンケート結果を、仮説に合うものに変更すること。

☆「盗用（剽窃）」

他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文または用語を当該研究者の了解または適切な表示なく流用すること。

例えば、インターネット検索で見つけた他人の文章を、典拠を示さずコピーし、自分のレポートとして提出すること。



また、知的活動の最前線である大学の授業で示された先生の説明や黒板の板書等を動画や写真で SNS にアップすることも、上記のような研究不正に関与したり加担したりしてしまうことになる可能性があります。そのような行為は行わないようにしましょう。

## 2. 九州国際大学での研究活動不正防止への取り組み

文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」では、「大学等の研究機関が責任を持って不正行為の防止に関わることにより、不正行為が起りにくい環境が作られるよう対応の強化が必要」である旨のことが述べられています。本学においても、このガイドラインに従い、以下の規程等を定め、研究不正の防止に取り組んでいます。

- 学校法人九州国際大学行動規範
- 九州国際大学における人を対象とする研究の倫理指針
- 九州国際大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程
- 九州国際大学公的研究費の管理・監査に関する規程
- 九州国際大学公的研究費不正使用防止に関する基本方針
- 九州国際大学における公的研究費の管理運用に関する行動規範
- 九州国際大学公的研究費不正使用防止計画
- 九州国際大学研究費取扱要項

以下は、その抜粋となります。

### 5. 本学における不正防止のための体制及び研究倫理教育（抜粋）

#### (1) 本学の研究不正の防止のための体制

##### ① 総括責任者（学長）

総括責任者は、研究倫理の向上及び不正行為の防止等に関し、大学全体を統括し、公正な研究活動の推進のための適切な措置を講じています。

##### ② 部局責任者（副学長）

部局責任者は、部局における研究倫理の向上及び不正行為の防止等に関する責任者で、公正な研究活動の推進のための適切な措置を講じています。

##### ③ 研究倫理教育責任者（学部長）

部局責任者は、研究者等に対する研究倫理教育について実質的な責任と権限を持ち、当該部局に所属する研究者等に、研究者倫理に関する教育を定期的に行っています。

#### (2) 研究倫理教育

研究倫理教育責任者は、広く研究活動に関わる者（研究者等）を対象に定期的に研究倫理教育を実施しています。

これで終わりではありません！

## 「新たな技術の活用」

### —生成 AI の導入や活用に必要な考え方

次ページへつづく

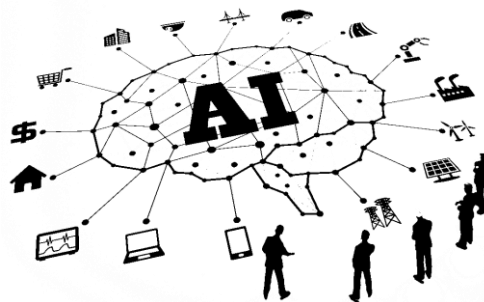
### 3. 九州国際大学 生成 AI 利用ガイドライン(初版)

## 【AI（人工知能）を活用した学習や研究】

－よく読んで注意してね！

#### ☆ 生成 AI（Generative AI）とは？

生成 AI とは、膨大なデータのパターンや関係性を学習し、その学習成果をもとに新たなコンテンツを生成する人工知能（AI）です。人間のように、文章や画像、音声などの新しいコンテンツを作り出せる点が大きな特徴です。



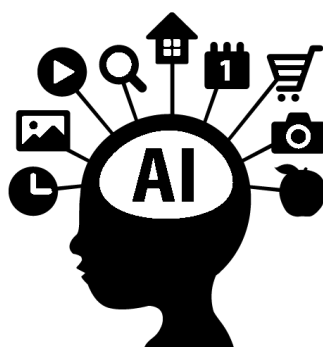
#### ☆ 生成 AI と AI（人工知能）との違い

AI（人工知能）は、コンピュータが人間のように学習し、判断する能力を持つ技術の総称です。これまでに、AI は定型業務をはじめさまざまな分野で活用されてきましたが、その中でも最近特に注目を集めているのが「生成 AI」です。

生成 AI は従来の AI が行ってきたデータ分析やパターン認識などとは異なり、独自のデータ・コンテンツを生成する能力を持っています。

#### ☆ 生成 AI の利用について

現代の大学生活において、生成 AI（例：ChatGPT など）は、書類作成やアイデア発想などに役立つツールです。適切に利用すれば生産性が向上し、学びの効率化も期待できます。



しかし、「生成 AI に過度に依存せず人としての成長を促すこと」も重要です。生成 AI は支援ツールですが、依存せずに自らの力で問題を解決し、批判的思考を育むことが求められます。AI の提供する情報をそのまま受け取らず、常に検証し、自分の意見を形成する習慣を大切にしましょう。

また、生成 AI を使う上では倫理的な配慮も欠かせません。AI が生成した情報の信頼性を評価し、不正行為や情報の誤用を防ぐリテラシーが求められます。大学生活は人として成長する貴重な時間です。生成 AI を活用しながら、自らの力で学び続けましょう。

九州国際大学では、上記のような研究不正防止に関する取り組みに加え、新たな技術（生成 AI）の利用に関するガイドラインも作成し、学生さんの研究や学習活動を支援しています。以下に全文を掲載していますので、よく読んで注意してくださいね！

# 生成 AI 利用ガイドライン

九州国際大学

## 1. 講義での利用に関するルール

各科目担当教員は、学生の成長を考慮しシラバスを作成しています。生成 AI の利用についても、科目担当教員の指示に従い、以下の点に留意してください。

### (1) 使用禁止の遵守

生成 AI の使用が禁止されている講義では、必ず指示に従いましょう。特に禁止されていない場合でも、生成 AI の利用には慎重さが求められます。

### (2) 生成 AI をそのまま利用したレポート等の提出禁止

生成 AI によって作成された内容をそのまま提出することはできません。自分自身の力で作成した内容を提出してください。

### (3) 生成 AI 利用時の出典明記

生成 AI を参考にした場合、その旨を明記し、出典を示すようにしてください。

## 2. ゼミ活動等での利用に関する注意点

ゼミ活動では、アイデア共有やデータの整理などに生成 AI を使う機会が増えます。生成 AI の特性を理解し、以下の点に注意しましょう。

### (1) 生成 AI の出力内容の真偽確認（ファクトチェック）

生成 AI は膨大なデータに基づいて出力を行うため、誤りが含まれる可能性を考慮すべきです。情報の信頼性を確認する習慣を持ちましょう。

### (2) 個人情報や機密情報の取り扱い

生成 AI に個人情報や機密情報を入力しないように徹底してください。

### (3) 異なる回答が生成される可能性

生成 AI は同じ質問に対しても異なる回答を生成することがあるため、その点を理解して利用してください。

## 3. 著作権と倫理的配慮

生成 AI が生成するコンテンツには、既存の著作物と類似する表現が含まれる場合があります。著作権や倫理的配慮を守るため、以下の点を心がけましょう。

### (1) 著作権の尊重

生成された内容をそのまま利用せず、自分の視点や表現を加えることが大切です。また、出所情報が参照できない場合があるため、限界を理解した上で利用してください。

### (2) 不適切な表現の確認

生成 AI の出力には、場合によっては不適切な表現が含まれる可能性があるため、内容を十分に確認しましょう。

#### 4. 人間としての成長

生成AIを利用する際には、無条件に情報を受け入れるのではなく、常に批判的に検討する姿勢が求められます。

##### (1) 情報の批判的検討

生成AIの情報を他の情報源と比較したり、異なる視点を探したりして信頼性を評価しましょう。普段の大学生活を通じ、情報の真偽を確かめ、反対意見を探求するなど、自己改善を図ることが重要です。

##### (2) 思考力を鍛える活動

「なぜ」「どうして」といった問いを繰り返し、自分の理解を深めましょう。読書や文章の読解を通じて、言葉の意味を吟味する手法も有効です。

##### (3) 協力とコミュニケーション

他者の意見や異なる視点を積極的に取り入れ、多角的で深い理解を目指しましょう。生成AIの活用においても、他のメンバーと意見を共有し、チームで協力し合うことが重要です。

生成AIはあくまでツールであり、その効果的な活用には利用者のスキルや倫理観が不可欠です。生成AIを活用しつつ、自己成長を大切にし、意義ある大学生活を送りましょう。

<本ガイドラインは、皆さんの未来が技術と人間性の両方を兼ね備えたものとなることを目指し、随時更新していきます。>

令和7年1月6日 初版

## 最後に

先に具体的に挙げたような研究不正の行為、つまり研究倫理に合わないふるまいをしてしまった場合、単位を落としたり、最悪の場合にはそれ以上の何らかの処分を受けなければならないかもしれません。これは「知らなかった」では済まされません。

実りある知的活動を行うためにも、このガイドブックを参考にしながら、研究倫理に適った学びや研究の営みを進めていきましょう。

(参考資料) 【URLの最終確認は2025年3月5日】

九州国際大学アカデミックスキル教材『マナビのトビラ』(第一版2012年、第二版2017年、第三版2021年、掲載は第二版)

南山大学「南山大学生のための研究倫理ノススメ」

URL: [https://office.nanzan-u.ac.jp/kyoken/kenkyu/item/fuseikoi\\_04.pdf](https://office.nanzan-u.ac.jp/kyoken/kenkyu/item/fuseikoi_04.pdf)

文教大学「文教大学で学ぶにあたり」

URL: <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kksc/wp-content/uploads/2021/09/rinrikyozai02.pdf>

文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」

URL: [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzAI/fusei/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzAI/fusei/index.htm)



**制作 九州国際大学**

北九州市八幡東区平野 1 - 6 - 1  
TEL 093-671-8910 (大学総務室)